

令和8年度 「幼保小架け橋期のカリキュラム研究会」
～『遊びは学び、学びは遊び』の充実に向けて～ 実施要項

1 目的

- (1) 幼保小が協働で「架け橋期のカリキュラム」を開発し、これからの時代に求められる資質・能力を育む
幼児期の主体的な「遊び」は、子どもの探究心や好奇心、やり抜く力等の、いわゆる非認知能力（社会情動的コンピテンシー）の育成につながると言われています。また、幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領には、自発的な活動としての遊びの大切さが、小学校学習指導要領には、「遊び」を通して育まれた力を学校の生活や学習につなげる必要性が示されています。「遊び」を通して育まれる探究心や主体性を幼保小でつなぎ、今と未来を生きる子どもたちの資質・能力を育てていきます。
- (2) 「よこはま☆保育・教育宣言」における保育・教育環境の創造と子どもの主体的な「遊びは学び、学びは遊び」を実現する
「よこはま☆保育・教育宣言」の内容を理解し、大切にしたい考え方や方向性を共有するとともに、《宣言2》「子どもの育ちと学びを支える主体的な遊びを大切にします」の具現化を進めます。
- (3) 取組の共有による全市的な波及・質の高い実践の拡大を図る
取組の成果を全市的に発信し、「遊びは学び、学びは遊び」の重要性や、「架け橋期のカリキュラム」についての社会の認識を広め、横浜市の保育・教育の質向上につなげます。

2 主催

横浜市こども青少年局 保育・教育支援課 幼保小連携担当

3 実施方法

(1) 研究員の構成

以下の①②について、計50施設より1名ずつ計50名を研究員とします

- ① 接続期カリキュラム研究推進地区（約5地区）及び幼保小連携推進地区2年目地区（約10地区）から 地区単位で参加
- ② 上記以外の園・校からの参加（若干名）※園のみ、学校のみ 単独の参加可

(2) 研究員の募集

※詳細は別紙 「令和8年度研究員募集案内」を参照してください。

- 計50施設（50名）を募集します。
- ①（地区単位の参加）は4月～5月上旬に募集し、②（推進地区以外での参加）は①の締切後に募集します。
- 原則として **全ての研究会に参加できること**、および **所属長の許可** を条件とします。
- 会場の都合により、研究員は**各施設1名**とします。
- 対象となる学校は、小学校・義務教育学校前期課程・特別支援学校です。
- 応募多数の場合は応募用紙の記載内容、施設種別のバランス等を総合的に考慮して決定します。
※定員超過の場合、条件を満たしていても参加できない場合があります。

(3) 研究の進め方

各施設は、「幼保小連携で目指す子ども像」「架け橋期のカリキュラムで目指す『子ども主体の遊びや学び』・『主体的・対話的で深い学び』」等に関わるテーマを設定します。

研究会ではそれぞれの実践を持ち寄り、他の施設と討議をしたり、研究アドバイザー（大学教授等）の助言を受けたりしながら研究を深化させます。

得られた学びを各施設に持ち帰って実践に生かす往還型の研究を進めます。

① 実施期間

令和8年7月～11月

② 開催方法

集合形式

③ 会場

第1回 南区役所1階多目的ホール

第2回～4回 横浜市開港記念会館

④ 内容 ※いずれも14:45～16:45

回	日程	内容
第1回	7月7日（火）	研究の進め方の確認、研究テーマ検討・確認、講師講話
第2回	9月1日（火）	経過報告、討議、講師講話
第3回	10月15日（木）	経過報告、討議
第4回	11月20日（金）	研究のまとめ、成果発表、講師講話

7 講師

玉川大学教授 大豆生田 啓友 先生

8 旅費等

各園・各校より出張扱いとします。

研究会場までの往復交通費は各園・各校の負担とします。

9 その他

研究員が開催日に参加できない場合は、各施設で代理参加者を選出してください。

連絡先

横浜市こども青少年局幼保小連携担当

國分 享子

045-671-3731

kd-youhosyo@city.yokohama.lg.jp